

## 目次

- 災害救急  
シミュレーション訓練 ..... 2～3
- ねっとわーく  
三浦医院 ..... 4  
宮入皮膚科医院 ..... 5
- 経営企画課からのお知らせ ... 4～5
- 家庭でできる  
リハビリテーション ..... 6  
「関節リウマチ」  
関節の状態を守るにはⅡ
- 検査の窓 ..... 7  
痛風
- 話題の広場 ..... 7  
いいだ人形劇フェスタ地区公演  
道化師(クラウン)が病院にやってきた
- 皆様の声にお答えします ..... 7
- ご案内 ..... 8  
「産科医療補償制度」がスタートします
- 新任医師の紹介 ..... 8

### 飯田市立病院 基本理念

私たちは、地域の皆さんの健康と快適な生活を支える病院を目指します

### 飯田市立病院 基本方針

- 1 私たちは、患者さんの権利と意思を尊重し、地域の皆さんに信頼される医療を行ないます
- 2 私たちは、高度で良質、安全な医療を提供します
- 3 私たちは、中核病院として、地域の医療機関と密接に連携します
- 4 私たちは、教育・研修機能を高め、医療水準の向上と人間性豊かな医療人の育成に努めます
- 5 私たちは、公共性と経済性を考慮し、健全な経営に努めます

### 飯田市立病院 理念行動指針

私たちは、誠意・熱意・創意をもって患者さんに接します



トリアージ訓練（集団災害時、症状の重さで患者を分類し、治療・搬送の優先順位を決定）



患者リスト作成のため患者の顔写真を撮影



軽症者「緑」治療班による頭部外傷治療訓練

# 災害救急

災害拠点病院として、迅速かつ効率的に対応することを目的に行ないました。



救急処置班による緊急処置訓練（気道確保、血管確保）



中等症者「黄」治療班による骨折患者の治療訓練



緊急手術を要する被災者について「ドクターヘリ」への搬送訓練



停電により人工呼吸器が使用できずバックバルブマスクを使用しての人工呼吸訓練（3西病棟）



病院建物の被害状況の把握及び必要に応じた受け入れ態勢を整えるための指示訓練等



患者情報を収集し本部長に報告

# シミュレーション訓練 9/7

## 大規模地震(飯田市:震度6弱)を想定



中央監視員、水道局職員と協力しての補水訓練

### ●各班ごとのおもな反省点は次のとおりです。

- トリアージ班**……………看護師4人、医師2人とまずまずのマンパワーであった。そのため、救急車で同時に2人搬送されたが、並行してトリアージできた。訓練ではあらかじめシナリオがあるのでスムーズにできたが実際は大変だろうと推測される。
- 救急処置班**……………「ICUに入れるか、手術は可能か、血液在庫はどのくらいあるのか」など情報がすぐわかるシステムが必要。
- 中等症者「黄」治療班**…もともと据え付けてあるベッドの間をストレッチャーが移動するため処置室は狭い。診察は廊下or整形外来で行ない、入院待機を処置室+他のスペースなどとした方が効率的。
- 軽症者「緑」治療班**……テント内での活動は、入口が狭いため患者さんの動線は一方通行にするのがスムーズで良い。レイアウトも問診→診察→処置と速やかに行なえるように机や物品を配置するのが良い。
- 情報班**……………「情報担当がいらない」という声が聞かれたが、実際には情報担当が不足することも当然考えられる。その場合は誰でも手の空いている者が代行しなければならない。割り当て担当に拘らず、臨機応変に動けるように訓練しておくことが実践的。

## 災害救急シミュレーション訓練を振り返って

今年も9月7日の日曜日に200人を越える職員が参加し、震度6弱の地震が発生したとの想定の下、災害救急シミュレーション訓練を行ないました。

9月の第1日曜日はこの訓練が年中行事になりつつありますが、内容は毎年毎年進歩してきていると思います。今年は、軽症者を病院内ではなく、入口近くに設営されたテント内で処置をする方式に変更しました。これにより院内が軽症者であふれるのを防ぎ、より効率的な救急活動ができると思われます。

災害救急体制の立ち上げから、トリアージ、応急処置までは問題なく流れるようになったと感じました。しかし、それ以後がまだうまくいっているとは言えない状況です。中等症以上の患者を、自院でみるのか他院へ搬送するのか、自院で診るとすればどこでみるか、更に搬送するとなればどの病院へどのような手段で搬送するかを速やかに決定する必要があります。この判断を行うのは災害救急本部です。これまで、ここに重点をおいての訓練はできていません。来年はこの辺を十分考慮した訓練を計画したいと思います。そのためには市役所本部、県本部、各地の病院との連絡訓練も同時に行なうようにしなければならぬと考えています。

災害救急医療マニュアル担当 長沼邦明



# 三浦医院

(喬木村阿島)



## 開業23年を迎えて

三浦医院 院長 三浦 宜久

私は栃木県の独協医科大学を卒業し大学病院の第1内科に入局いたしました。そこで循環器、呼吸器、消火器内科、小児科を学び昭和60年に生まれ故郷である喬木村で三浦医院を開業しました。開業した当時は4人の医師がいたため保育園と中学校の校医だけでしたが、その後養護学校が出来、老人ホームが出来、現在は保育園、養護学校、小学校、中学校、短大、老人ホームの学校医、嘱託医をしています。当院の専門は内科、小児科で心電図、レントゲン、腹部、心エコー、経鼻内視鏡、呼吸機能検査など行っており人間ドック、

一般検診、特定検診を行なっています。これらの診療を行なっている中で日頃心がけていることは、「患者様は医師に話せないこともスタッフには話します。医師よりもスタッフの方が患者様の事を豊富に知っていることがあるためスタッフの声に耳を傾けること」と「私の仕事は、患者さまの命と健康を守る大切な仕事だ」という自覚と誇りを持つことです。幸い南信地区は医療の連携が整っており、飯田市立病院が中核病院として充実していて私ども開業医にとって心強く思っております。今後も微力ですが地域医療のため病院連

携を密にとり頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。



三浦先生(前列中央)とスタッフの皆様

所在地 〒395-1101 喬木村849-10

☎0265-33-2030

診療科目 内科 小児科

受付時間 8:30~12:00、14:00~18:00

往診 有

休診 木曜日午後・土曜3時以後・日曜・祝日

駐車場 有



## 経営企画課からの おしらせ

### 高松分院の解体作業が始まりました。

高松分院の解体作業が9月初旬より開始されました。今年の12月末には全ての作業が終了する予定です。

跡地には引き続いて、100床の介護老人保健施設と診療所を整備する計画です。



施設の取り壊しが始まった高松分院

### 新施設の整備について

新施設は、リハビリ機能を防や介護力向上など、保健が連携した取り組みを進め、みよい地域づくりを担います。

また、施設は平成22年度、早期完成を目標に準備を

## 登録医紹介

登録医とは共同診療、検査機器の利用、研修参加などを一緒に行って、より良質な医療を地域の皆様に提供するため、協力いただいている医療機関です。

## 宮入皮膚科医院

(飯田市西郷)



## より良い皮膚病診療を目指して

宮入皮膚科医院 院長 宮入 宏之

私は昭和54年新潟大学医学部を卒業後、母校の皮膚科学教室に入局しました。その後母校医局から教授が就任したのに伴い、新設された富山医科薬科大学(現富山大学医学部)皮膚科医局に移り、以後ずっと北陸地方で医療活動を行なっていました。昭和61年皮膚科専門医を取得後、郷里の飯田に戻り皮膚科診療所を開業しました。開業にあたって考えた事は、近隣には内科、外科はもとより、整形外科、眼科等の専門診療科も多く、医療圏は充実しているのでいろいろな事には手を出さず、自分の守備範囲(皮膚科)だけはしっかり

診ようという事でした。田舎のため患者さんの中には胃の具合が悪い、腰が痛い、目がかわく等々いろいろ訴えられて薬を希望される方もありますが、すべて専門に診てもらうように話をしています。今後ともこの方針に変わりありませんが、医学の進歩と共に自分の専門科ですら解らない事が多くなりつつある現在、自信を持って皮膚科診療を行なうためには、益々の自己研鑽が必要であると考えています。

私が開業した頃、まだ市立病院には皮膚科がなく、昭和伊南病院まで患者さんをお願いしなくてはならず大変不便な思いを

しましたが、今は市立病院に皮膚科だけでなく形成外科も充実し、大変助かっています。今後とも病診連携を深めていければと願っています。



宮入先生

所在地 〒395-0026 飯田市西郷583-2

☎0265-52-0022

診療科目 皮膚科

受付時間 9:00~12:00、14:30~18:15

往診 有

休診 木曜日午後・日曜・祝日

駐車場 有



### 新施設の概要

#### ○介護老人保健施設(診療所併設型)

構造	RC 3階建て
延べ床面積	4,334.53㎡
入所定員	100床

#### ○施設形態

3階	入所施設	
	認知専門棟	48床
2階	入所施設	
	一般棟	52床
1階	通所リハビリテーション	
	訪問リハビリテーション	
	居宅介護支援事業所	
	地域交流スペース	
高松診療所		

### 高松診療所とゆうゆうの運営

工事期間中も高松診療所(上郷保健センター内)及び上郷老人保健施設ゆうゆうは、通常どおり運営しています。

ご利用の皆さまには、大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

経営企画課経営企画係 (内線2219)

させ、介護予、医療の分野とにより、住施設を目指開設できるよっています。

# 家庭でできる リハビリテーション その7

## 「関節リウマチ」 関節の状態を守るにはⅡ

薬には痛みや炎症をとる効果が期待できます。しかし、薬にばかり頼って関節を動かさないでいると関節が固くこわばってしまうことがあります。毎日続けるために、家庭でのリハビリテーションが大切です。

**運動は、体の調子がよいときに無理のない範囲で身体を動かすのがポイントです。**

### 膝と股関節の運動



### 大腿四頭筋の運動

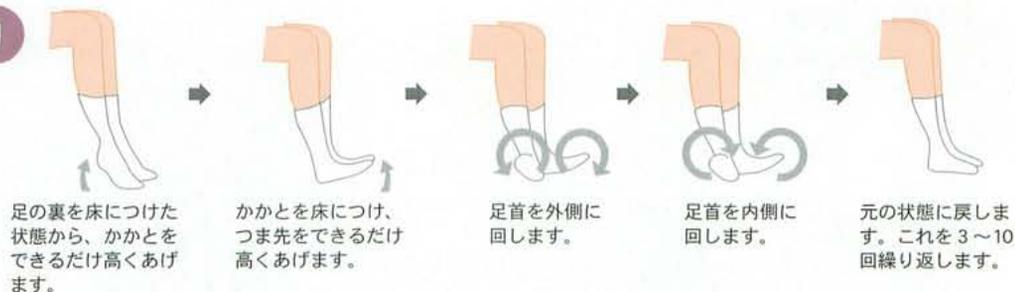
筋力や関節の動きを維持するための体操と違い、この運動は筋力を強化し、鍛えるために行ないます。これまでの体操と同様に、朝夕2回行なうとよいでしょう。



この運動で膝の痛みを感じる方は



### 足首の運動



## 検査の窓

その10

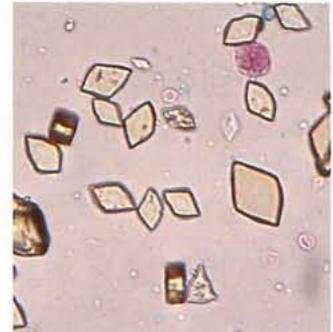
痛風と言えば、「足の親指が痛む病気」とご存知の方も多いと思いますが、30代～50代の男性に多い病気です。痛風の検査は、血液中の尿酸値、関節液や尿の検査等を行います。血液中の尿酸の基準値は男性3.6～7.0mg/dl女性2.7～7.0mg/dlで、これを超えた場合に高尿酸血症と言われ、持続すると関節炎が生じて激しい痛みを伴う痛風となります。患者さんの関節液を顕微鏡で観察すると、針状の結晶が見られます(写真左)。また、尿酸値が高くなると血液中に溶解できなくなって結晶化し、尿に排泄された結晶を見ると菱形でキラキラしています(写真右)。

尿酸の元となるのは、食品中のプリン体で、レバー、イワシ、白子、ビール等に多く含ま

れます。痛風はプリン体の摂り過ぎだけでなく、アルコールの多飲や肥満、ストレスによる生活習慣病と分かってきました。高尿酸血症を指摘された場合は、生活習慣を改善するとともに医療機関へ受診し痛風の予防に努めましょう。



関節液：尿酸Na結晶



尿：尿酸結晶

## 話題の広場

### いいだ人形劇フェスタ地区公演 8/9(土)

玄関ホールにおいて人形劇フェスタ松尾地区公演が開催されました。上演劇団は「紙芝居梅田佳声」と「劇団カタスク(長屋の花見)」の2劇団で、120名余の観客は生の舞台に接する事が出来ました。「みる・演じる・ささえる」の合言葉のもと、市民と人形劇人とがともにつくる人形劇の祭典は、素晴らしい感動をもたらしてくれました。



### 道化師(クラウン)が病院へやってきた 9/8(月)

小児科病棟に病院でパフォーマンスを行なう道化師「ホスピタル・クラウン」の訪問がありました。オレンジ色のつなぎに金色の靴、赤く丸い付け鼻をした姿で、病棟の子供たちに笑いを届けてくれました。この日訪れたのは、名古屋市を拠点に活動し、日本ホスピタル・クラウン協会理事長を務める大棟耕介さんと、風船で花や動物を作ったり、サングラスを掛けて一緒に写真を撮ったりと楽しい一時となりました。



## 皆様の声にお答えします

待合室での患者の呼び出しについて、プライバシー保護の大切さも分かるが大きな声で呼んでもらうか、電子表示をするなど耳の遠い患者に分かりやすい案内をしてほしいのですが。

他の診療科に受診中であったり、席を外されていた場合など、一度お呼びしても待合室にお見えにならない場合は、数回お呼び出しを行なっています。

また、定期的に受診されている耳のご不自由な方には看護師が直接声を掛けるようにしています。

電子表示につきましては、待ち時間を案内するとともに病院からの情報を適時に提供していくために、電光掲示板設置を検討しています。



## ご案内

### 「産科医療補償制度」がスタートします

この制度は、分娩に関連して発症した重度脳性まひの赤ちゃんが速やかに補償を受けることができるようになり、安心して産科医療を受けられる環境をつくるため、厚生労働省の運営機関により創設されました。この制度は、原則として全ての分娩機関が加入することになります。

#### ○いつからスタート？

- 2009年1月以降に生まれた赤ちゃんが対象になります。このため、分娩機関（病院・診療所・助産所）での登録手続きの開始は2008年10月からとなります。

#### ○制度の目的は？

- 分娩に関連して発症した重度脳性まひの赤ちゃんとその家族の経済的負担が速やかに補償されます。
- 原因分析を行い再発防止に資する情報を提供することにより、紛争の防止・早期解決および産科医療の質の向上を図ります。

#### ○制度の特徴は？

- 病院、医院や助産所といった分娩を取り扱う機関が加入し、掛金も分娩機関が負担します。
- この制度に加入している医療機関でお産をすると、万一の時に補償の対象となります。

#### ○制度発足にともなう当院の対応

- 登録手続き  
当院で分娩予定の全ての妊婦さんに窓口にて登録していただきます。
- 分娩料の値上げ  
掛金は分娩機関が負担するため、当院の分娩料に掛金の3万円分を2009年1月より増額させていただきます。  
(妊婦の負担を増やさないための対応策として、出産育児一時金が2009年1月より35万円から38万円に増額されます。)



産科医療補償制度に関するお問い合わせ先：

飯田市立病院医事課

電話：0265-21-1255 受付時間：午前8：30～午後5：30（土日祝日除く）

### あ と が き

今年の夏も猛暑の日々がつづきました。不安定な気候も多く、局所的なゲリラ豪雨に被災された方々のニュースも何度か耳にしました。

地震や豪雨といった自然災害は、いつ襲ってくるかわかりません。自然の猛威の前に、無力感を感じることもありますが、備えておくことが重要です。

過日、当院でも防災訓練が行なわれました。全職員が日頃から防災意識を持ち、有事に対して的確に考え、行動できるよう準備しておきましょう。  
(編集委員 八木ひかる)

### 新任医師の紹介

平成20年7月1日  
～9月30日



**整形外科 山田 実**  
(やまだ みつのる)  
平成11年卒業  
平成20年7月1日着任  
前勤務病院 市立甲府病院



**整形外科 植村 一貴**  
(うえむら かずたか)  
平成17年卒業  
平成20年7月1日着任  
前勤務病院 信州大学医学部附属病院



**麻酔科 宮澤美紀子**  
(みやざわ みきこ)  
平成16年卒業  
平成20年8月1日着任  
前勤務病院 信州大学医学部附属病院